

科目名		建築設備			
担当教員		伊與部 聖奈		実務授業の有無	
対象学科		建築大工科	対象学年		1
必修・選択		必修	単位数		1
開講時期		後期			
時間数		16			
授業概要、目的、授業の進め方		<p>授業はプリントを使用し、分かりやすい言葉を用いたり図を描くなどして、イメージがしづらく取っ掛かりにくい設備分野の理解、知識習得を目的とする。また、練習問題を実施し、どのような出題形式で問われるかも合わせて確認する。後期では、どの試験でも中心的に問われる空気調和設備を軸とし、照明設備、昇降設備、消防設備、実務で役立つ設備図面・設備記号を学習。合わせて、近年重要視されている省エネ設計分野を学習する。</p> <p>2年次後期を目指す2級建築施工管理学科試験、そしてその後の2級建築士学科試験を見据えて、詳しく学習する。</p>			
学習目標 (到達目標)		2級建築施工管理学科試験、2級建築士試験合格レベルの知識定着を目標とする。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		世界で一番やさしい建築設備 (株) エクスナレッジ			
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	照明設備		照明設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことができる。		
2	昇降設備		昇降設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことができる。		
3	空気調和設備		空気調和設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことができる。		
4	消防設備		消防設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことができる。		
5	設備図面・設備記号		設備図面・設備記号を理解し、重要事項を読み取ることが出来る。		
6	省エネ設計		省エネ設計における設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことができる。		
7	順次 小テストを実施する。 (2回以上実施予定)				
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
期末試験	小テスト	課題提出・内容			
70 %	20 %	10 %	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			<p>期末試験に加え、小テストを随時実施するのでその評価も加える。課題提出を課した場合は、提出の有無、提出期限の厳守、課題内容によって評価をする。期末試験はもちろん、日頃の学習を疎かにすることなく、授業に臨むこと。</p> <p>建築設備は快適な居住環境を整えるためになくてはならないもの。身の回りで使われているところを探し、イメージを持って学習しましょう。</p>		
実務経験教員の経歴		意匠設計実務4年			